

KENZAI NAVI Journal



窪田 茂

JCD日本商環境デザイン協会理事長

Designs JP代表

日本から世界へ
「空間デザイン」の可能性を極める
商環境デザインの歴史、伝統、文化を担うリーダーとしての役割



PROJECT STORY
建材ナビ
出会いと
創造

斬新な発想と卓越した技術の
融合から生まれた
新世代インテリア素材



いざ、凛として優しい
竹組み・杉編みの光天井が
いざなう「天空の茶室」へ、

2023 vol.21

KENZAI NAVI Journal

[建材ナビジャーナル] vol.21 発行:株式会社プログランズ 〒160-0007 東京都新宿区荒木町5-4 KUSAFUKA Bld.4F Tel.03-3225-3569

新感触。
魅了する「和」のエクステリアへ



施工例: エイコー・プラ竹(煤竹)をつかった大津垣と扉



施工例: エイコー・プラ竹パネル(なごみ)で作った建仁寺垣



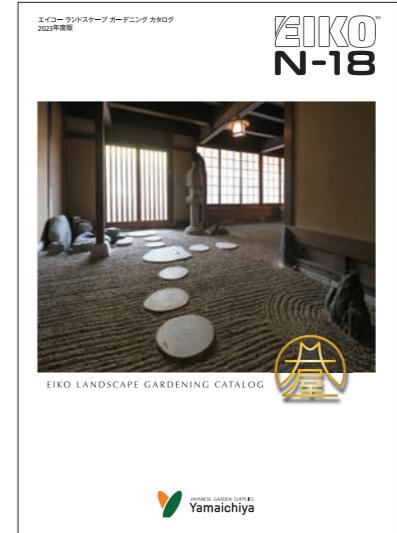
▲天然竹の濃淡を表現したプラ竹・エイコーポールは煤竹、青竹、さらし竹、黒竹などがあり、御簾垣や大津垣などデザインの自由度も高い製品です。



カタログのご請求 山一屋がご提案する造園製品・緑化製品・石材砂利等を満載したカタログをそろえています。お電話またはホームページからご請求してください。

現場作業の効率化ができます。
エイコー・プレ・カット出荷
エイコー・オーダー・ユニット制作

Yamaichiya
株式会社 山一屋



天然素材造園製品と緑化製品
エイコー ランドスケープ
ガーデニング カタログ (N)
(A-4判本文224ページ)

造園製品
ユニット式竹垣、天然素材の垣根、庭門袖垣、木戸、枝折戸、カケヒ、すだれ他

造園資材
棕櫚繩、根巻・幹巻テープ、枕木・杭・丸太、天然竹、孟宗竹、萩、長穂、銘竹、窓他

造園用具
ロープ、モッコ、スリング、アルミ三脚、ゴンドラ、運搬車、鋸、電動バリカン、鉄、ショベル、掛矢他

緑化資材
デザインサポート、ワイヤー支柱、樹木地下支柱、ガーデングレート、壁面緑化、屋上緑化システム、人工土壌、防草材シート、遮光ネット、灌水システム、人工芝、木材加工製品他

建築石材・砂利・瓦・燈籠



ホームページで
カタログもご覧
いただけます。

KENZAI NAVI

Journal

2023 vol.21
CONTENTS

SPECIAL INTERVIEW

- 04 **日本から世界へ**
「空間デザイン」の可能性を極める
商環境デザインの歴史、伝統、文化を担うリーダーとしての役割



- 10 **MANUFACTURER** 新たな時代に適応する解決策を、多様な選択肢から
12 創業より培った板金・金属加工の技術とデジタルテクノロジーの融合
株式会社ヒラミヤ
14 おすすめは、水と電気だけでつくる、地球にも人にもペットにもやさしい疑似暖炉AFIRE
株式会社マストレ
16 「もったいない精神」から生まれた循環型製品のロールモデル、NUNOUS®(ニューノス)とは
セイショク株式会社

- 18 **PROJECT STORY** 出会いと創造 —プロジェクトストーリー—

- 20 斬新な発想と卓越した技術の融合から生まれた新世代インテリア素材
浜新硝子株式会社 × 藤川貿易株式会社
22 いざ、凛として優しい竹組み・杉編みの光天井がいざなう「天空の茶室」へ
株式会社竹六商店 × 株式会社新潟ヒロタカデザイン事務所

- 24 **Architect** 建築家の見る光景 —「人と建物」が紡ぐストーリー—

- 26 日常的に人が知覚している事象や原理を形態として視覚化
玉上貴人 | タカトマガミデザイン株式会社（略称 TTAD）
28 空間の豊かさや、創り上げる楽しさを分かち合える家づくりを
下田恭子 | 株式会社下田設計

- 30 **Information** 建材ナビ & かたなび



ONREI



エコ床暖



- 床暖房 全館冷暖房 両立
予算 選べる 空調システム
蓄熱効果 24 時間稼働 必要なし



JCD60周年記念式典+記念講演 一般社団法人 日本商環境デザイン協会は2021年に創立60周年を迎え、各地で記念イベントが開催された。

したけれど。現在JCIOという団体は全国で10支部あり、各支部に支部長がいるのですが、その支部同士の連携というのはそれまでやや弱かったのです。

東京の僕たちがいるところが本部で、関東は関東支部があり、地方支部を合わせて全国に10支部あるのですが、コロナになつて活動できなくなつた分、オンラインでのミーティングや会議みたいなものができるようになったので、全国の支部の人たちとの連携も、実

例えは、それまでは支部長会議なども全国から皆が集まつてやつていたのをオンラインで手軽にできるようになり、支部間の連携が上手く運ぶようになつたおかげで、JCD自体もさらに盛り上がりがったような気がします。

今まででは、距離の近い支部同士は割と仲良くできていたのですが、北海道と九州となると距離の問題でなかなか交流も難しかつたからね。

できました。

ザインアワードを開催していましたが、ある時、今日日本を代表する「デザインアワードとは何だろうか」というのを考えたときに、DSAと組んで今までやってきたアワードを合併させて規模を大きくする案が浮上しました。その方が日本にとっても海外の人たちにとっても、おそらく認知されやすくなるだろうということ、で、思い切って合併しようということになり、スタートしたのが「日本空間デザイン賞」なのです。

り、それに応じて「日本店舗設計家協会」としてスタートし、今日まで、綿々と続いてきたというわけです。今はグローバルな時代になり、この長い期間の間に商業デザインという分野が盛り上がり、主流となってきた、いるということです。

そして、この流れを続けていくためのマーブメントとして、デザインの力みたいなものを世の中の人たちに伝えていくためにJCDという団体が非常に重要なポジショニングにあるのです。それを僕たちは、きちんと引き継いで歴史や伝統、

秋葉 SNSで、60周年のイベントなども拝見させていただいたのですが、すごい歴史の積み重ねがある取り組みなのだなと……。

JCD創立60周年の記念として、
基本的な講演会やトークショーなどを
中心とした60周年記念イベン
トを全国の各支部ごとにやって
る、コロナになつたおかげでと
いう言ひ方はござりが、それを今
はコロナ前よりもかなりやり易く
なりました。

琳は、やはりデザインアワードですね。現在はインテリアデザイン系の団体であるDISAと組んで開催している「日本空間デザイン賞」という大きなデザインアワードの運営です。

雀躍田茂

Degins JP 代表

國會理專題

くぼた しげる
1969年東京生まれ。
2003年、窪田建築都市研究所(有)を設立。
2023年4月、Degrins JP (株)へ社名を変更。
建築からインテリア、プロダクトなど幅広く、
企画、プロデュース、デザインを行う。

一般社団法人
日本商環境デザイン協会
03-6277-4813

日本最大級アワード
「日本空間
「デザイン賞」を創出

秋葉 そうですか、コロナの影響
と言ったら語弊がありますが、全
国の支部間の連携が深まつたとい

もともと、JOJOのメンバーは皆で集まり、イベントで盛り上がりながら、よくなことが大好きだったので（笑）。

お聞かせください。
窪田　JCDは1961年創立
なので、今年62年目になりますか
……。「デザイン団体としてはかな
り古い方であり、それだけずつと
歴史が続いて来ているのですが、
当時はインテリア「デザイン」という
言葉もなく、「店舗設計家」とか「店
舗屋」などと言われた時代でした。
それでも、そのころから店舗や
商業施設などに「デザイン」が必要に

「JCD」とはというところからお話しいただきたいのですが。
窪田 JCDは、日本商環境デザイン協会という名前の団体ですけれど、その名の通り、商環境、つまり店舗やインテリアなどのデザインに関わっている人たちが正会員となつて集まつてゐる団体です。特徴的なのはどちらかというと、フリーランスで独立をしているデザイナーが多いことですね。
ほかの団体ですと企業に属しているデザイナーも多いのですが、JCDはフリーランスが多い分、独特で個性的な人たちが集まる団体といえます。

「空間デザイン」の可能性を極める

商環境デザインの歴史、伝統、文化を担うリーダーとしての役割

商環境テサイン領域に
携わるクリエーターが
集うJCDとは
秋葉 本日は貴重なお時間ありがとうございます。早速ですが、ま

秋葉
本日は貴重な
集うJC'Dとは

KENZAI NAVI JOURNAL vol.21 | 04

窪田理事長が代表を務めるデジンズ ジェーピー
株式会社 (Degins JP Inc) にてインタビュー



PRODUCT OF THE YEAR

賛助企業の優れた技術、デザインに基づく製品を、正会員の目で評価。受賞製品は、商店建築やNIKKEI DESIGNなどで掲載される。

身をPRするお手伝いをJCDさんにやって頂けるのはいいですね。次にJCDの会員についてですが、正会員と賛助会員の協力関係は以後どのように形になるとよいでしょうか。

窪田 賛助会員の方々はJCDの活動に賛同とサポートをしていただおり、本当に感謝しているのですが、頼むばもつともっと積極的に参加していただきたいと思っています。

もちろん、仕事として繋がるといふこともあると思うんですけれど、デザイナーがどんなことを考へているのかということを聞く機会というのは多々あるので、そういうのを聞くだけでも、本当に感謝しているかと思います。

それで、うまくいけば、そういう賛助会員の方々とJCDの正会員が組んで何か新しい商品を開発する、ショールームを作つて

JCDのいいところだなと思います。先日の展示会、ジャパンショップでもJCDはブースを持ち、「今注目される若手デザイナー20人展」



「プロダクトオブザイヤー」を開催しています。

窪田 そうですね。プロダクトオブザイヤーは、アワードとして優れた製品に賞を与えるのですが、賞を受けなかつたとしても、賛助会員さんからすれば、PRをするチャンスが増える。正会員からすれば、製品に賞を与えるのですが、賞を受けなかつたとしても、賛助会員さんからすれば、PRをするチャンスが増える。正会員からすると、自分たちが知らない情報がちゃんと届く、とそんなふうに活用して頂ければいいかなと思いま

す。

JCDでは毎年、賛助会員さんに向けた「プロダクトオブザイヤー」を開催しています。

窪田 そうですね。プロダクトオブザイヤーは、アワードとして優れた製品に賞を与えるのですが、賞を受けなかつたとしても、賛助会員さんからすれば、PRをするチャンスが増える。正会員からすると、自分たちが知らない情報がちゃんと届く、とそんなふうに活用して頂ければいいかなと思いま

す。

秋葉 JCDさんがこれから取り組もうとする活動などについてお聞かせください。

窪田 まずは、今までずっとやっている活動をこれからも継続していくこと、そして更に盛り上げて行く努力をすること。また、これまで外部向けに発信していくイベントなどが中心だったのですが、

※ドイツ・ハノーバー工業デザイン協会が毎年主催する、全世界の優れたデザインを選定するデザイン賞。アメリカのIDEA賞、ドイツのレッドドット・デザイン賞ならび世界3大デザイン賞の一つ。



2019年、一般社団法人日本商環境デザイン協会(JCD)と一般社団法人日本空間デザイン協会(DSA)それぞれのデザインアワードを合併。日本最大級の空間系アワードが誕生した。

合併したことにより、「日本空間デザイン賞」はアジアで最大と言つてもいいほどの規模の「デザインアワード」となり、ここで賞を取ればそれなりの権威があるということを、国内に発信されるような仕組みづくりをしました。その結果、今はドイツの「IFデザインアワード」^(※)という世界3大アワードと言われるアワードをしました。

外に発信されるような仕組みづくりをしました。その結果、今はドイツの「IFデザインアワード」^(※)という世界3大アワードと言われるアワードをしました。

未来のデザイナーに デザインの芽を 育む活動「SODA」

の一環ともなっています。

窪田 それ以外にはいわゆるトーナメントやシンポジウム、勉強会などです。また、大きな取り組みとして、全国の小学校を中心には子供たちに店舗デザインの体験を通して、デザインの楽しさを伝える「SODA」という活動もしています。

「SODA」というのは、See and do of Design Awardの略で、子どもたちにデザインの芽を育てる意味を込めたものです。

SODAは正規授業枠内での授業として、JCDの正会員や、SODAの略で、子どもたちが授業をやってほしいという小学校を訪れます。小学生たちに幾つかのグループに分かれてもらって、そのグループごとに自分たちが考える未来の店舗もしくは自分たちがやりたい店舗、こんなお店があつたらいいみたいなことをテーマに模型を作つてもらうんですよ。それを最後にプレゼンテーションしてもらつてというところまで4時間ほどで

窪田 あとはJCDトータラウンジ、タカラハシツキイチといった、若手を中心としたデザイナー達を呼んでトークイベントをやってもらいます。これはこれですごく面白いです。

窪田 あと、シンポジウムはもう本当に今の著名な方々とか偉業をなされた方々、亡くなつた方も含めて、その人たちをテーマでお話をします。これはこれですごく面白いです。

秋葉 会員さん達と子供さん達と一緒に照明で雰囲気を出して、プレゼンテーションしてもらつ。それがすごく評判でずっと毎年やっている学校もあります。全国の支部の人たちの活動としても、大いに盛り上がっています。

秋葉 会員さん達と子供さん達との触れ合いも含めて楽ししそうですね。そのほかの活動についても伺つてよろしいですか。

窪田 最後に照明で雰囲気を出して、プレゼンテーションしてもらつ。それがすごく評判でずっと毎年やっている学校もあります。全国の支部の人たちの活動としても、大いに盛り上がっています。

秋葉 会員さん達と子供さん達との触れ合いも含めて楽ししそうですね。そのほかの活動についても伺つてよろしいですか。

窪田 あとはJCDトータラウンジ、タカラハシツキイチといった、若手を中心としたデザイナー達を呼んでトークイベントをやってもらいます。これはこれですごく面白いです。

2



1



3

会社の成長に伴う
社名変更で
業務の枠も大きく広がる
窪田 最近の社名変更について、
その理由や経緯などについてお話
しください。

窪田 今まで窪田建築都市研究所
という名前でやっていましたが、
創業から20年目という節目で、い
ろいろなものを変えてしまふ、ト
ライしていくぞと思った結果、そ
うなりました。窪田建築都市研究
所は古臭いけど、分かりやすくて
良かったのですが(笑)
それにうちのスタッフもだいぶ
育ってきたし、あえて僕の名前で
仕事をしなくてもいいくらいの優
秀な子たちが出て来歩いて、窪田
という名前ももうそろそろ要らな
いかなと思ったのと、建築都市研
究所という建築やインテリア、街
づくりに関わるために付けた名称
が分かり易くはあるけれど、故に
業務の範囲が制限されてしまう。
そんなことを何回か経験した上
で、やはり名称を変更する必要が
あるという考えに至ったわけです。
その一方で、不動産業をずっと
やつてみたいと思っていたのです
が、その理由として、周囲の建築
デベロッパーさん達と一緒に仕事
をする中で、不動産屋さんの理論
でもの作りが進められることに度々
ジレンマを感じることがあった。
それはそのデベロッパーが悪い
やつてみたいと思っていました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

のではなく、社会の構造に起因
しているからであり、例えば何か売
るとか貸すとかということになっ
た場合は、何JCDKにしなければ
いけないとか、駅から何分かなど
が価値基準になつており、それに
合わせて価格が決まりするわ
けです。素晴らしいデザインの
のが出来れば家賃がちょっと高く
なつたり、それを流動化すれば、
今までよりも高値で取引きされ
る可能性もある。やはりデザインが
いい方がいい。

それなら、自分たちがデベロッ
パーになつて、自分たちの考え方
で戦おうという風に思い、マイク
ロデベロッパーぐらいの小さい規
模から始めるのはありなのではな
いかと……。やるなら、今しかな
いという思いでチャレンジしてい
ます。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

窪田様の会社 Degins JP (デジンズジェーピー株式会社) の施工実績紹介

1) LATTE GRAPHIC 武蔵小杉
1Fの店内は、中央を横断するよう
に約8mのキッチンカウンターを配置。

2) HIYORIチャプター京都
トリビュートポートフォリオホテル
1階共有部のエントランス、レセプション、レストランバー、チャプターファ
クトリーの内装設計を担当

3) Aoi Teien
和歌山市内の結婚式場。「歴史
や伝統を尊重・継承しながら、新
たな創造をしていく」ことを空間
コンセプトとした。



という話をチームが受けたことに。
メタバースという仮想空間の中
に作るミュージアムなので、本物
の建築を作るわけではないのです。
だから何の法律も制限もないもの
を作るので、自由過ぎちゃう(笑)
その自由過ぎちゃうものの建築
事務所がいかに取り組むのかが課
題なのですが、新たな考え方や要
素などを取り入れる必要もあり、
仕事としては面白くなつてくるの
かなつていう風に感じています。
だから、その設計と不動産とデ
ジタルがうまく回るようになれば、
色々なことにトライでけるよう
なるので設計事務所単体としてや
っているよりも、幅が広がるとい
うのが一番ですね。窪田建築都市研
究所という名前がDegins JP(デジンズジェーピー)になっ
て、仕事の枠をぐーんと広げるこ
とができるそうです。

窪田 分かりました。ところで、
私ども「建材ナビ」では建築業界の
更なる発展を目指して活動してい
るのですが、JCDが主催する
「ナビ」さんには、JCDが主催す
る、例えば「プロダクトオブザイ
ヤー」、「SODA」、各種イベン
トなどの活動へのご協力、情報発
信などにご協力頂き、人々がお互
いにふれあい、交流できる機会を
創出して頂ければ、より良い関係
性が生まれるのではないかと思います。

窪田 そうですね、やはり「建材
ナビ」さんには、JCDが主催す
る、例えは「プロダクトオブザイ
ヤー」、「SODA」、各種イベン
トなどの活動へのご協力、情報発
信などにご協力頂き、人々がお互
いにふれあい、交流できる機会を
創出して頂ければ、より良い関係
性が生まれるのではないかと思います。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業
務自体は減っていく可能性が大い
にある。Aーが入ってくると、も

メタバースとかWEB3.0と
かNFTもそうですが、今年は
Aーが話題ですが、去年や一昨年
ぐらいからそういう話題が多くあ
りました。そんな中、たまたま、メタバ
ースの中でミュージアムを作りたい
という話題が出てきました。

窪田 そうですね、リアルな業務
である設計と不動産に加えて、今
後はデジタル化にも積極的に取り
組んで行こうかと考えています。
世の中がどんどんデジタル化の
方向に進んでいますし、設計業務
自体も自動設計ソフトが生まれ、
自分たちの設計図を描くという業

創業より培った板金・金属加工の

技術とデジタルテクノロジーの融合

株式会社ヒラミヤ



INTERVIEW

MANUFACTURER

新たな時代に
適応する解決策を、
多様な選択肢から

建材メーカーのこと、建材業界のこと、製品はどのように生まれるのか、
施工実績がどのように社会に影響を与えるのか、ものづくり企業としての、苦
労や喜びなどの想いをたっぷり語っていただきました。
建材メーカーへのインタビューは、建材ナビのインタビューコンテンツ
「すまいりng」でも同時紹介しています。

SumaiRing



創業より培つた板金・金属加工の技術とデジタルテクノロジーの融合



日本最大級の体験型ショールームのレストランにマッチするカウンター製作。直線を基調とする幾何学的なデザインは、ヒラミヤだからこそ実現できるアルゴリズムによる設計。

デザイン担当: デジンズジャービー株式会社 (Deginz JP Inc.)

— メルセデスベンツ和歌山 様のカウンター テーブルを作成されたプロセスとコンセプトをお聞かせください

建築事務所(施主)からのコンセプト・意匠・ご要望をカタチにするという大前提を基に次の3点を条件として作成に当たりました。

- ① メルセデスが表現するカウンターであるため、カウンター テーブルは、蹴とばしても凹まないことを。
- ② つなぎ目は、シャープであること。
- ③ 要所要所に合わせた形状の変更が可能であること。

— どのような加工方法でしたか

得意・不得意がありますが、得意な点を伸ばすことが出来れば、誰でも活躍出来るチャンスがあると考えます。

加工方法は、次の3点です。
① ライノのグラスホッパーと手加工の金物加工技術を組み合わせたものづくり。② 3角1枚が約40

kg × 45 mm の鋼板の目地はピン角に仕上げている。③ すべてを仮組することで、現場で組み立てが出来ないことは発生しない。

重厚で強靭なカウンターでありながらも、シャープで繊細なライアンを表現出来ていることで、レストランにご来場されるお客様のメルセデスに対するイメージをカウンターテーブルが表現出来ていると感じています。

— この作品で、建築事務所さんがデザインアワードで金賞を受賞されたということです

私たちを活用頂けたことで建築事務所が金賞を受賞出来たことは、私たちにとっても嬉しいことです。ご依頼者の作品に掛ける思いを力タチに出来たことは、今回の受賞につながったと思います。

— 将来のビジョンをお聞かせください。

私たちのコンセプトは、次世代を担う人たちと地球を守るために、事業を営むことであり、そのため

建築界の3D化に協力出来ればと考えております。

— 食の循環を見直すという「大豆プロジェクト」について教えてください。

参画することになった背景としては、若者が面白いと興味を持つてもらえるものづくりの業務内容に変えていくことが必要と考えます。先人が今まで創り上げてくれた技術を基に、現在・未来を見据えて、これから進んで行くであろう方向性に向けて技術も取り入れて、手加工のものづくりとつなげて進んで参ります。

— これからものづくりへの取り組みで大切なことは

私たちは次世代を担う人たちと地球を守るために事業を営む企業として活動を続けます。

また、3D技術を活用したものづくりによるムダの削減や廃材の再利用にも尽力しています。具体的な事例は比較をしていないので不明ですが、金属の廃材はすべて溶かして再利用するなど、余分な部材購入削減・人工時間削減・工期短縮・廃材削減を可能としています。



代表取締役
平宮健美
ひらみやたけみ

グラフィック工学科を卒業後、家業である町工場の板金屋に就職。幼少期に経験した地域のお祭りでのイベント終了後の達成感が忘れられず、ものづくりの面白さや難しさを若者たちに伝え続けている。先人に感謝をして、最新の技術と組合わせたものづくりに日々挑戦中!



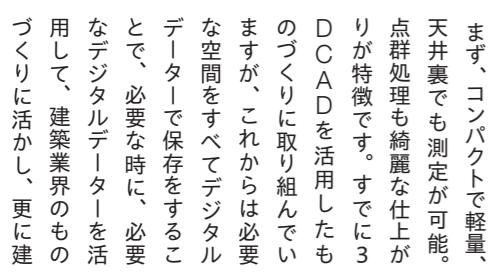
株式会社
ヒラミヤ
神奈川県川崎市
高津区久地3-4-1
044-811-5760



大豆選別機
収穫した大豆を、そのまま食用として販売する大豆、加工用として利用する大豆、肥料として利用する大豆に分ける機械



3Dスキャナー
従来の方法では困難だった現場の測定・作図が、高い精度で可能に。また測定漏れによる再測定がないので、時間やコストのロスを防ぐ。



3Dスキャナー
人間として地球に存在する価値を有効に活かせないと考えるきっかけを頂ける方たちばかりです。

来ないかと相談を受けたことが最初です。

現在、全国北は北海道から南は鹿児島まで、無農薬や有機栽培をされている個人の農家の方たち11件に販売をしてきました。まだまだ、自給率向上にはお役に立つていませんが、販売をしてきた現地の農家の方たちは、それぞれの地域で色々な取り組みをされており、人間として地球に存在する価値を有効に活かせないと考えるきっかけを頂ける方たちばかりです。

また、唯一販売をした皆さんからお言葉を頂きますことは、冬場の寒くて暗い家の中で、老婆と老女が少しづつ大豆を選別して3か月掛かっていた作業が、3日で終わると喜んで頂けることです。

— 地域に密着したものづくりのエキスパートとして心掛けていることは

まず第一に、差別のない職場環境づくりを目指しています。人はおもに活かせないと考えるきっかけを頂ける方たちばかりです。

また、唯一販売をした皆さんからお言葉を頂きますことは、冬場の寒くて暗い家の中で、老婆と老女が少しづつ大豆を選別して3か月掛かっていた作業が、3日で終わると喜んで頂けることです。

— 新たに導入する3Dスキャナーの機能や特徴は

まず、コンパクトで軽量、天井裏でも測定が可能。点群処理も綺麗な仕上がりが特徴です。すでに3D CADを活用したものがづくりに取り組んでいますが、これからは必要な空間をすべてデジタルデーターで保存をすることで、必要な時に、必要なデジタルデーターを活用して、建築業界のものづくりに活かし、更に建



地域住民に向けたオープンファクトリーやイベントへの参加など、ものづくりの楽しさや創造性を次世代の人たちに伝えることで地域産業の活性につながることを目指す。

おすすめは、水と電気だけでつくる、
地球にも人にもペットにもやさしい
疑似暖炉 A FIRE

嗜好性の高い全てのユーチューバーに個性的な意匠建材を提供



——貴社の企業理念、信条、などをお聞かせください。

当社マストレは「感動と笑顔のために」というキャッチフレーズの元、お客様へ期待以上のサービスを提供し、喜ばれる企業を目指しています。

私たち海外事業部は、およそ50年前の創業時から存在する部署で、インテリアやエクステリアの業界でロートアイアンやロートアーリミ、輸入照明、輸入家具の会社、というイメージを持っていただいているお客様が多いのですが、地元の浜松市ではマストレといえばTHE不動産屋さんというお堅

いイメージの会社です。
また、グループ内には工務店や
医療機器の販売会社、医療法人が
あつたり、過去には農業や飲食業
にトライしてみたり。当然失敗す
る事多らうううううううううううう

生にこそ皆内二指つっている
ジを施したり、A F - R E の機能
にしても炎を囲んでリラックスす
るというのは、近年のキャンプブー
ムだからではなく、昔から人の習

また、お客様に当社の製品をもう（機能してしまった）ものかと思っています。

せいかく輸入させていただいた
美しいシャンデリアも落下の恐れ
があつては十分に楽しんでいただ
きませう。当主は、去

AF-IREも、火の危険性だけ
落下防止の対策を2重3重に施してからお届けするよう規定を設けております。

AF-Eは超音波振動で水道水を微細なミストにしてから放出し、ミストにLEDの光を当てて炎のホログラムを作り出す装置です。設置環境にもよりますが、本物の炎と見間違うほどのリアルな揺らめきと、人にもペットにも、環境にも優しい安全性を兼ね備えます。店舗のアイキャッチにも使っていただきいていますが、ずっと見ていられる系のリラクゼーション効果は、ぜひ実機を見てご体感いただきたいです。

メイドならではの、現場に合
う自由なデザインとサイズでオーナー
要望に応える。

ロートアルミ手摺

―― 製品の予想していなかつ
た使われ方とかござりますか
を仕込ませて います。

外に出すよう、衛生面においても徹底的にケアしています。単なる黒い箱に見えて、意外と隠れたところに人に優しい先端テクノロジーを仕入れませています。

——企業としての今後の方向性や在り方、将来への展望などをお聞かせください

まだ詳細は決まっていませんが、これまでの輸入ビジネスで世界中でビジネスパートナーができたので、今度は昨今の円安をチャンスと捉えて、日本の文化や想いというソフトウェアを工業製品というハーネス

ドウエアに乗せて、海外へ輸出で
きたらと考えています。当社は過
去に、海外進出や輸出系のプロジェ
クトを立ち上げては失敗してきま
したが、物流やWEBの発達で世
界との距離はハードウェア的な意
味でもソフトウェア的な意味でも、
非常に近くなっていると感じてい
ます。陶磁器の緩衝材として使わ
れていた北斎の浮世絵がヨーロッ
パで大人気になったり、シリコン
バレで伊藤園さんのおいお茶
が流行つたり、我々が普段何気な
く接しているプロダクトが意外な
ところで受けたりするので、海外
へ向けて地道にアウトプットして、
時流に合ったお客様に喜んでいた
だけるサービスの構築を目指して
参ります。

A modern, minimalist fireplace with a black frame and a glass front, featuring a fire effect.

A-FIRE 従来の燃料式暖炉と違い、必要な燃料は水のみ。赤外線リモコンで炎の「強さ」と「速度」を8段階調整が可能。

りして作っていく大手アルミメーカーの製品とは異なり、アルミの無垢材やパイプ材を曲げたり、叩いたりしながら加工して、溶接でくっつけていくという、昔から世界中で鍛冶屋さんが作っていたロートアイアンにかなり近い製法で製作するため、フルオーダーで1つ1つ違うデザイン、寸法の製品を本物指向のお客様にもご満足いただけるクオリティーで製作できます。

当社で薪ストーブを輸入して販売していたのですが、最近はタワー・マンションに住まわれる方も増えて、煙突が付けられないため自宅に暖炉は欲しいけど設置ができないので、諦めているというお客様が増えました。

そこで、擬似暖炉や煙突不要のエタノール暖炉などが代替候補に挙がっていたのですが、小さなお客様がされるリスクを考慮して水

が並んでいますが、そこそこの価格帯で実現できているのも採用率の高い要因かと思います。

海外事業部
太田裕樹
おおた ひろき

浜松市出身。IT 関連の仕事で富士市や沖縄県への転勤を経てきたUターン組。
AFIREやINSIGHTといった新製品群の営業担当



株式会社
マストレ
静岡県浜松市
南区卸本町33
053-441-5660

「もったいない精神」から生まれた循環型製品のロールモデル、NUNOUS®(ニューノス)とは



NUNOUS®(ニューノス)は、布の色や質感を損なわないアップサイクル方法を可能にすることで、「見えない大量の廃棄」を「美しく見える化」。見えない廃棄の存在を伝え、廃棄物と企業、人の新たな関係を結びます。

近年、世界的な規模で大量生産され、大量消費されるファストファッションの大流行などによる衣料廃棄の問題が大きく取り上げられるようになりました。日本における年間衣料廃棄量も100万トンにも及ぶことで深刻な環境負荷が懸念されており、廃棄衣料削減への解決策として、リユース、リサイクルへの取り組みが、関連業界に課せられた急務となっています。こうした環境問題の解決を目指し、独自の特殊技術により生まれた画期的な循環型製品がNUNOUS®です。

—新素材「NUNOUS®(ニューノス)」はどのようにして開発されたのでしょうか

布積層新素材「NUNOUS®(ニューノス)」開発の背景には、織維産業の抱えている環境問題と、

のアップサイクル(※2)品ができ、

自ら使えることも他には無い大きな特徴。ある大手ゼネコン様では、従業員が着古した制服で作ったオリジナルNUNOUS®を、エレベーターホールやトイレ、室名などのサインとして内装のアクセントにご採用頂きました。他にもホ

表現できる点が強みになります。

—実際に使用された事例など教えて下さい

マンショングランジで、壁面装飾が多く、オフィスや商業空間の什器・ディスプレイ・家具の天



上)廃棄せざるを得ない布をお預かりしオリジナルNUNOUSを作成。アートパネルとして生まれ変わった。

下)チェスト天板。積層したブロックを垂直にスライスすることで、通常と違った虹目柄も出せる



テルのベッドシーツ、企業ユニフォーム、アパレルの廃棄ウェアなど、1つ目の製品本来の役目が終えても、オリジナルNUNOUS®の原料にすることで、それぞれに新たな美しさが現れ、自分たちで使うという循環の強いストーリー性を

板部などの表面材・仕上材としても実績多数です。ホテルのベッドボーダーやルームサイン、ランプシェードや、各種サイン計画の素材としても実績が増えており、使い方は建築士様やデザイナー様のアイデア次第に対応できますので、まだまだ用途が拓がりそうです。他の素

廃棄する布が、「もったない」から何とかして生かしたいという想いから。

染めた布の納品基準は日本では特に厳しく、「C品」とされた布は自社が買取の上、廃棄されます。布には複数の繊維が含まれるため、リサイクルが難しく、焼却処分になります。生じる温室効果ガスは日本だけでも年間約12億tにものぼると推計されます(※1C品の少なさで実績を上げてきた弊社でも約1%の布を廃棄しています)。

本業である染色事業は布の产地や気象条件に左右され、多くの熟練工を必要とする繊細な仕事です。「従業員が皆で一生懸命作ったものを、なぜ捨てなければならないのか?もったいない!」という想いからC品(=出荷規格外品)を活かす道を試行錯誤すること2年。数百枚の布を重ねて固め削り出したところ、布の表情そのままに全

てのを、なぜ捨てなければならないのか?もったいない!」という想いからC品(=出荷規格外品)を活かす道を試行錯誤すること2年。数百枚の布を重ねて固め削り出したところ、布の表情そのままに全



セイショク株式会社
代表取締役
姫井 明
ひめい あきら



セイショク
株式会社
岡山県岡山市
北区中井町
2丁目8-7
090-4133-1229

「キレイじゃないか、これだ!」織維産業の垣根を越えた瞬間でした。

く別ジャンルの素材が現れました。「キレイじゃないか、これだ!」織維産業の垣根を越えた瞬間でした。

—「NUNOUS®(ニューノス)」の製法と、特徴を教えてください

捨てられてしまう布を積み重ね、サトウキビの非可食部分由来のボリマーを含侵+圧縮させる特許製法を使います。圧縮し、積層面に対し、水平にスライスすることでゆがみやたわみが美しい模様となつて現れます。

木目や大理石の柄は布の厚みや織り柄で変わり、2つとして同じ柄が生まれない有機的な美しさを生みだし、建築やインテリア業界を中心に次々と採用されるようになりました。

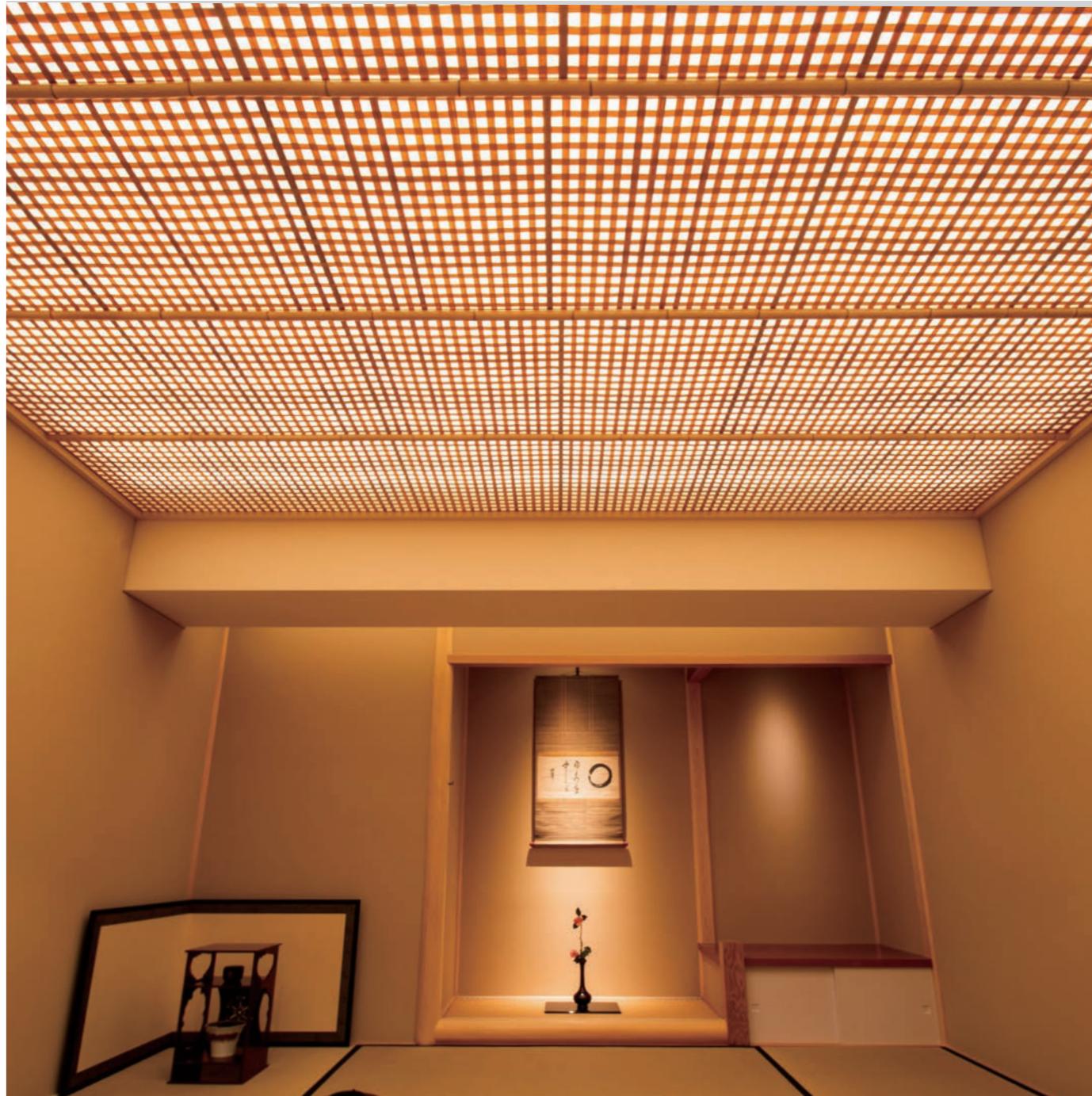
また、原料である布をクライアント由来の布に置換えオリジナル



百貨店やグローバルに展開するホテルへの導入や、アパレル分野の欧州トップブランドとコラボ商品のプロジェクトなど、業種の垣根を超えたSDGsを具現化する取り組みを進めている。

※1 経済産業省生産動態統計年報 繊維・生活用品統計編より算出

※2 捨てられるはずの廃棄物を付加価値を付けて再利用し、新たな製品価値として生まれ変わらせるこ



- vol.13 -

Takeroku  **Nigata Hirotaka Design**
株式会社竹六商店 株式会社新潟ヒロタカデザイン事務所

竹という持続可能な天然素材を中心とした建築内装材の魅力を伝え続ける株式会社竹六商店の小田氏と、本物のデザインを通じ、地域への貢献ならびに文化の発展に寄与する株式会社新潟ヒロタカデザイン事務所の大竹氏のプロジェクトストーリー。

建築家と建材メーカーはどのようにしてマッチングに至ったか。プロジェクトはどう完結したか。建材ナビを通じて知り合った、建築家と建材メーカーの両者にインタビュー。知り合ったいきさつ、施工案件の内容、施工のコンセプト、材料の選定と提供など、現場のリアルをたっぷり語って頂きました。建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリング」でも同時紹介しています。



- vol.12 -

Hamashin Glass  **Fujikawa**
浜新硝子株式会社 藤川貿易株式会社

アパレル服飾小物雑貨と建材インテリアを中心に、卸・問屋業を行っている藤川貿易株式会社の秦氏と、基本素材のガラスに異素材のスパイスを加え、今までにない空間作りの可能性を提案し続ける浜新硝子株式会社の過能氏とのプロジェクトストーリー。



出会いと創造

メーカーと建築家の
ジョイントプロジェクト

Vol.12

アパレル服飾小物雑貨と建材インテリアを中心に、卸・問屋業を行っている藤川貿易株式会社の秦氏と、基本素材のガラスに異素材のスパイスを加え、今までにない空間作りの可能性を提案し続ける浜新硝子株式会社の過能氏とのプロジェクトストーリー。金属生地と合わせ硝子を融合した製品の誕生秘話や、有名ホテルで採用されたことなどについて語って頂きました。



「パークハイアットニセコHANAZONO」のチャペル

壁面、合わせ硝子扉として使用。このチャペルは、2022年の公益法人日本インテリアデザイナー協会選考事業インテリアスペース部門で入選を果たした。

壁面、合わせ硝子扉として使用。このチャペルは、2022年の公益法人日本インテリアデザイナー協会選考事業インテリアスペース部門で入選を果たしました。D社の生地は国内で消防法(不燃・可燃)を取得していません。故にそのまま壁張りとして使用できないのですが、合わせ硝子にする事によってこの問題をクリアできました。

2. 素材が金属ですので頻繁に手の触れる場所に設置すると、場合によつてキズを付けたりする恐れがありますが、これが硝子に挟む事によってその恐れが無くなりました。

3. D社の生地は国内で消防法(不燃・可燃)を取得していません。故にそのまま壁張りとして使用できないのですが、合わせ硝子にする事によってこの問題をクリアできました。

— 製品は、他にも有名ホテルにインテリアとして採用されていますね。

秦 D社の資材をお使い頂いた案件の一つに「パークハイアットニセコHANAZONO」のチャペルにて壁面、合わせ硝子扉として大きくご使用頂きました。このチャペルが2022年の公益法人日本インテリアデザイナー協会選考事業インテリアスペース部門において入選を果たしました。D社の生地は担当頂いた加々美様、千葉様は大変お世話になりました。このような弊社資材をお使い頂いた案件が受賞するというのは初めての事ですので、もし少しでもお役に立てたのであればこれほどれし

— 他のガラス加工メーカーから、難しいと言われた技術とのことで、どのようにご対応されたのですか。

秦 どちらもガラス加工技術を用いて製作する「金属メッシュガラス」です。

過能 イタリア本国でガラスと組み合った製品は、イタリアのドモドッソラ社の金属メッシュを、合わせガラスの加工技術を用いて試行されました。その際に弊社にもお引き合いを頂いたのがきっかけでした。

STYLE GLASS(浜新硝子株式会社)

代表取締役社長
過能史光 (かのう しんご)

我々のコンセプトは「ガラスの料理人」。基本素材のガラスに異素材のスパイスを加え、様々な加工と言葉の調理法で今までにない空間作りの可能性をご提案いたします。

福岡県柳川市田畠 213-1
TEL:0944-72-6877

斬新な発想と卓越した技術の 融合から生まれた 新世代インテリア素材

い事はありません。
— 採用されたインテリア資材への
どのような感想をお持ちですか。

秦 私はインテリア資材と共にアパレル資材も担当しているのですが、やはりお使い頂いた資材が何年・何十年と残るという事は、特に移り変わりが早く、半年ごとに販売しているものが入れ替わるアパレルの世界では珍々ない事なので感慨も一入です。

何年、何十年か後、ふと訪れた場所で「実はこれ私が販売したモノなんです」と言えると思うとワクワクします。

過能 ご依頼のあった製品は、イタリアのドモドッソラ社の金属メッシュを、合わせガラスの加工技術を用いて製作する「金属メッシュガラス」です。

秦 イタリア本国でガラスと組み合った製品があり、そのアイデアを藤川貿易様が日本で形にできなかつたので、それを試行して頂いたのがきっかけでした。

過能 弊社はこれまでに多くの案件に携わり、合わせガラス加工の技術を培つてきました。そうした長年の経験から、薄い金属の厚いものまで、金属メッシュ生地の合わせガラス加工については、積み重ねた技術を駆使して対応可能となつております。

— 今後ともコラボ企画は続けて行かれますか。

過能 はい、今後も藤川貿易様は、ユーザー様の新しいご要望にしっかりとお応えできるよう、ご協力させて頂きます。そして「金属メッシュ生地×ガラス」のさらなる可能性を追い続けて行きたいと願っております。

Hamashin Glass
浜新硝子株式会社

Fujikawa
藤川貿易株式会社

藤川貿易

— 今回の設計を手
掛けることになった
経緯を教えてください。

秦 浜新硝子様との
出会いは2016年に
初めてJapan Show
展に出展し

た際、ブースにてお
名刺交換させて頂いたのが始まり
と記憶しています。当時は合わせ
硝子加工先を探していた時のこ
とです。何社にもあたったのです
が、「この様な変わった素材は難
しい」「保障出来ない」と言われ
たので、安心してお問い合わせ
が協力します」と言ってくださつ
たので、安心してお問い合わせ
が出来ました。勿論、何度も試作、テ
ストを繰り返して頂き、現在は全
てお任せしております。

藤川貿易株式会社

秦 専一 (はた せんいち)

アパレル服飾小物雑貨と建材インテリアを中心にお
けることを行っています。マフラー、ネクタイ、サス
ペンダード、カフリンクスや装飾用生地、家具用生地
を取り揃えています。各種OEMも承っております。



KENZAI NAVI JOURNAL vol.21

「浜新硝子の過能社長だけが、全面的に協力します、
と言ってくださいました。」



杉柾四ツ目編ワーロンシート貼／真竹晒竹竿縁
杉柾単板を編み込み、裏面にワーロンシートや垂れ防止桟を取り付けた仕様。竿縁の真竹晒竹は茶室空間をより際立ている。

「竹六商店」さんの製品のうちに発見しました。

品格の高い、意匠性の高い、新しい和の伝統文化を表現、創出する「竹」と「和材」の仕様製品に眼を奪われました。実品を手にした訳でなく、カタログとサンプルを頂いた時点で確信し、とてもシンプルな構成の「杉柱四ツ目編」を探用。続いて、小さな金物に本物の息吹を感じる、床周りの「数寄屋金物、花釘」も専門本手打ちを各種採用しました。

このように、釘一本手を抜けない部品である茶室空間において、全ての優品を備えておられる竹六さんとの出会いは幸運でした。また、今回は「建材ナビ」のサイトで、(茶道・茶室関連の製作・仕上げ材・建材)などで検索した結果、竹六商店様を知ったので、出会いの場を提供してくれた「建材ナビ」さんにも感謝ですね。

——施工後に感じたこと、感想な

—今回ヒロタカザ
ザイン事務所様に採
用された製品について
教えてください。

製品名：N.O.161
杉柾四ツ目編 ワー
ロンシート貼

小田　国産の杉柾單
板を四ツ目柄に縫み
込み、裏面にワーロンシートと垂
れ防止棧を取り付けた製品です。

入口、水屋、お手洗いの配置と居住空間との結界、結節の考慮など、多くのことを学べた空間でありました。

簡素で、晴れやかで、伝統も蘊含し出せた茶湯空間が完成したと感ります。

完成後、柿落としの初回にお招きいただき、お道具揃え、茶主のお点前に触れて、地域の茶の湯文化に貢献出来た事は大変満足しています。また、その機会を与えて頂いた施主様や仕様材料を提供してくれた「竹六商店」様にも、深謝いたします。

どお聞かせください。
大竹 北山杉、霧島杉、松李目で
床を組み、オーソドックスな聚楽
色で壁を包む。極シンプルに腰張
りもせず、茶道口を障子の太鼓襖
待合は立礼席に兼用。元々バリア
フリーの階高設計で寸法不足や、
また炉が切れるか、など数値との
格闘でしたが、結果としては上手
に上手くこなされました。



PROJECT STORY 建材ナビ

出会いと 創造

メーカーと建築家の ジョイントプロジェクト

竹という持続可能な天然素材を中心とした建築内装材の魅力を伝え続ける株式会社竹六商店の小田氏と、本物のデザインを通じ、地域への貢献ならびに文化の発展に寄与する株式会社新潟ヒロタカデザイン事務所の大竹氏のコラボレーション。新潟市街地中央に建設されたRC造のマンションの最上階に施主様の要望で設えられたのは、格調高い伝統文化の神髄ともいえる本格的な茶室でした。まさにこの「天空の茶室」を実現するまでの試行錯誤と出会いのストーリーをお二人に語って頂きました。

いざ、凛として優しい竹組み・杉編みの
光天井がいざなう「天空の茶室」へ

Takeroku

Nigata Hirotaka Design

新潟ヒロタカ
デザイン事務所

—今回の設計を手掛けることになつた

施工後のお写真は雅かつ絢爛の様相を見せる反面、どこか奥ゆかしさとそこはかとない趣も感じられる絶妙なバランスを演出いたしました。初めて拝見した際は驚きと感動で胸いっぱいだったことを記憶しています。

弊社が持ち合わせていないアイデアを見せていただいたことは今後の提案に繋がる話ですし、事例として多くの方にご覧いただきたい内容に仕上げていただいたこと、本物件に協力できましたこと含め感謝の気持ちで溢れています。

——貴社の今後の展開、または将来的の展望などをお聞かせください。

小田 現在次のカタログである「ヴェルデⅩ—Ⅷ」の制作に着手しております。

そこには今回採用いただいた商品の掲載はもちろんですが、より豊かなラインナップを予定しております。その一つとしてこれまで製品群になかった「不燃網代」が追加されます。

不燃網代は一昨年開発に成功、当初は杉柾単板が0・2mm厚と非常に薄いもののみでしたが、本年、杉柾単板が0・45mm厚を用いた製品の開発に成功し国土交

すが、その中でも今回は茶室天井全面との運びだったのでどんな様相になるのか非常にワクワクしておりました。

——茶室という特別な空間の設計にあたり、苦労した点はどんなところでしたか。

大竹 元来、弊社創業者は美術品蒐集以外にも、茶の湯に勤しんでおり、建築設計業務を志す者たちの必須の学びは、総合芸術の茶道にあるとの信条を持っておりました。そこで弊社では社員が、空間から作法まで「茶の湯」を学ぶ機会を得ていたのです。

そこで、今回10階の天空にマンション仕立ての茶室を設えるに当たり、流派が異なるも先人達の派生経緯、思想心情、コンセプトの復習などの基本構想から着手する

株式会社新潟ヒロタカデザイン事務所

取締役会長
大竹健一 (おおたけ けんいち)
1975年 (株)ヒロタカデザイン事務所 入社
1983年 (株)新潟ヒロタカデザイン事務所 入社
2000年 (株)ヒロタカデザイン・システムズ 代表取締役社長



「茶室空間の全ての備品を備えておられる竹六さんとの出会いは幸運でした。」

ことにいたしました。苦慮したのは、RC構造による大梁、中梁の活かし方(マンション用の本体設計だったので)、避け方などの位置取りでした。そこは、床前の天井を横断する大梁をあえて存在感を活かして、床前までの細い天井と点前座、客席の天井を一面光天井に設る構想から仕様検討し、資材選びを開始しました。

——今回、竹六商店様の製品を採用された決め手はどのようなところでしたか。

大竹 資材選びをする中で、繊細で巧みな杉編みから溢れる灯火(LEDO自然光、調光付き)が凜として優しいイメージの天井資材を

株式会社竹六商店

販売促進課
小田龍太 (おだ りゅうた)
竹六商店は竹をはじめとする建材の製造販売をお
てしております。お問い合わせなどございましたらお
軽にご連絡ください。
SNSやブログを通じて多くの方に自然素材の魅
力をお伝えしています。どうぞよろしくお願い致
ます。

〒521-1242
滋賀県東近江市福堂町3488

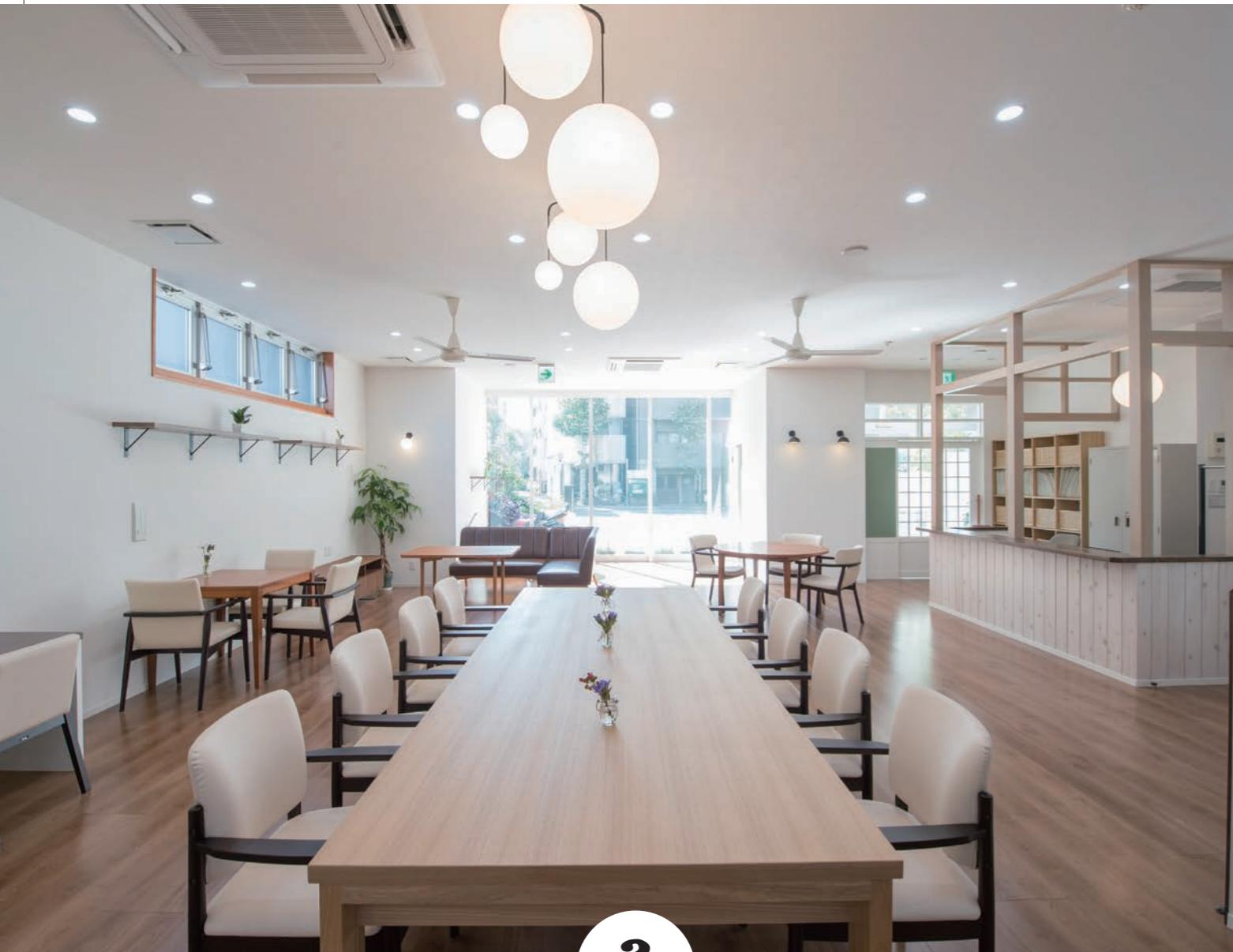


建築家の見る光景

—「人と建物」が紡ぐストーリー—

建材ナビのインタビューコンテンツ「すまいリング」でシーズン毎に取材している設計士へのインタビュー記事よりピックアップ。住宅、集合住宅、商業施設、公共施設などの施工に取り組む、設計士の体験談をお楽しみください。

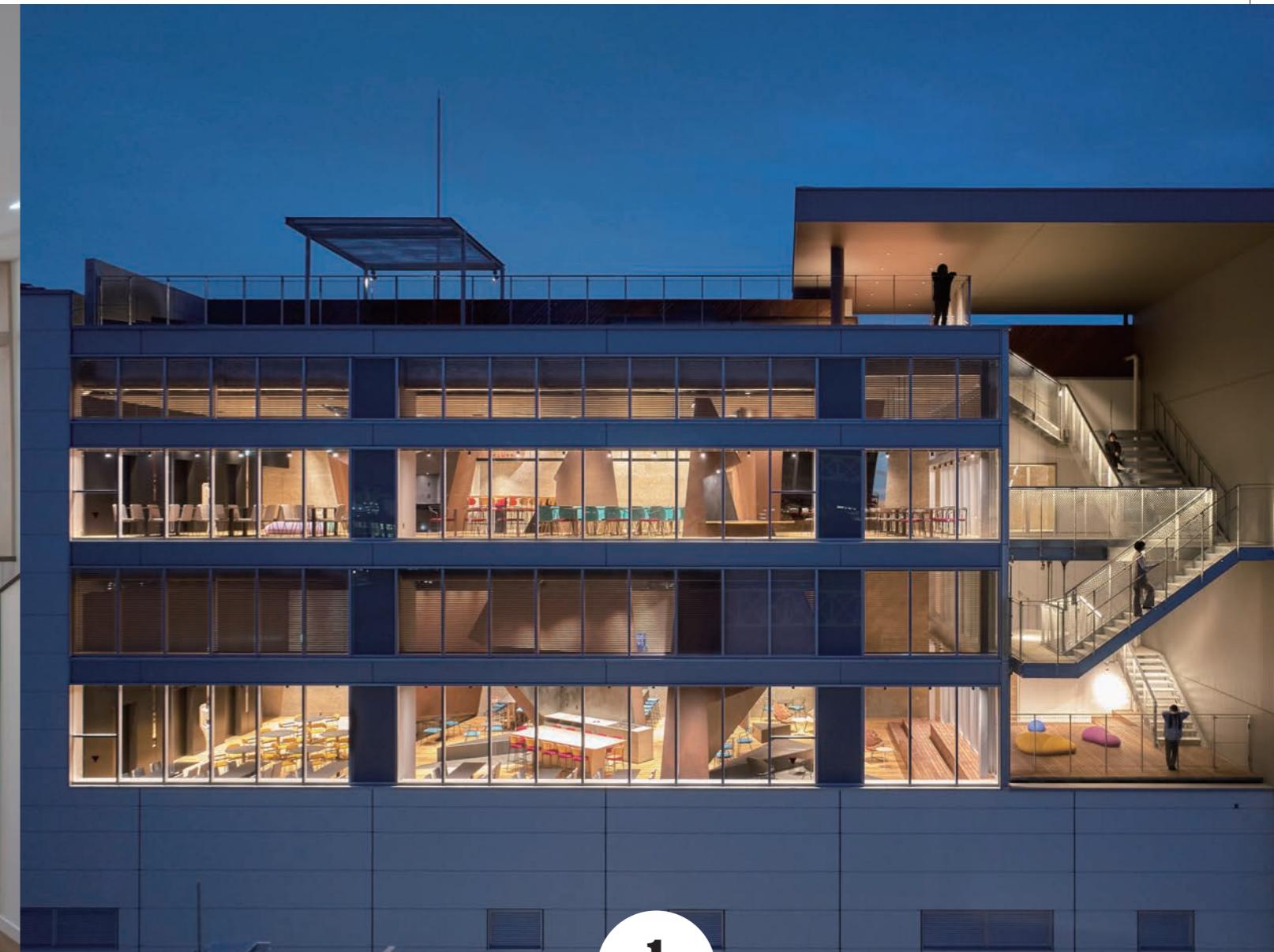
SumaiRing



2

空間の豊かさや、創り上げる
楽しさを分かち合える家づくりを

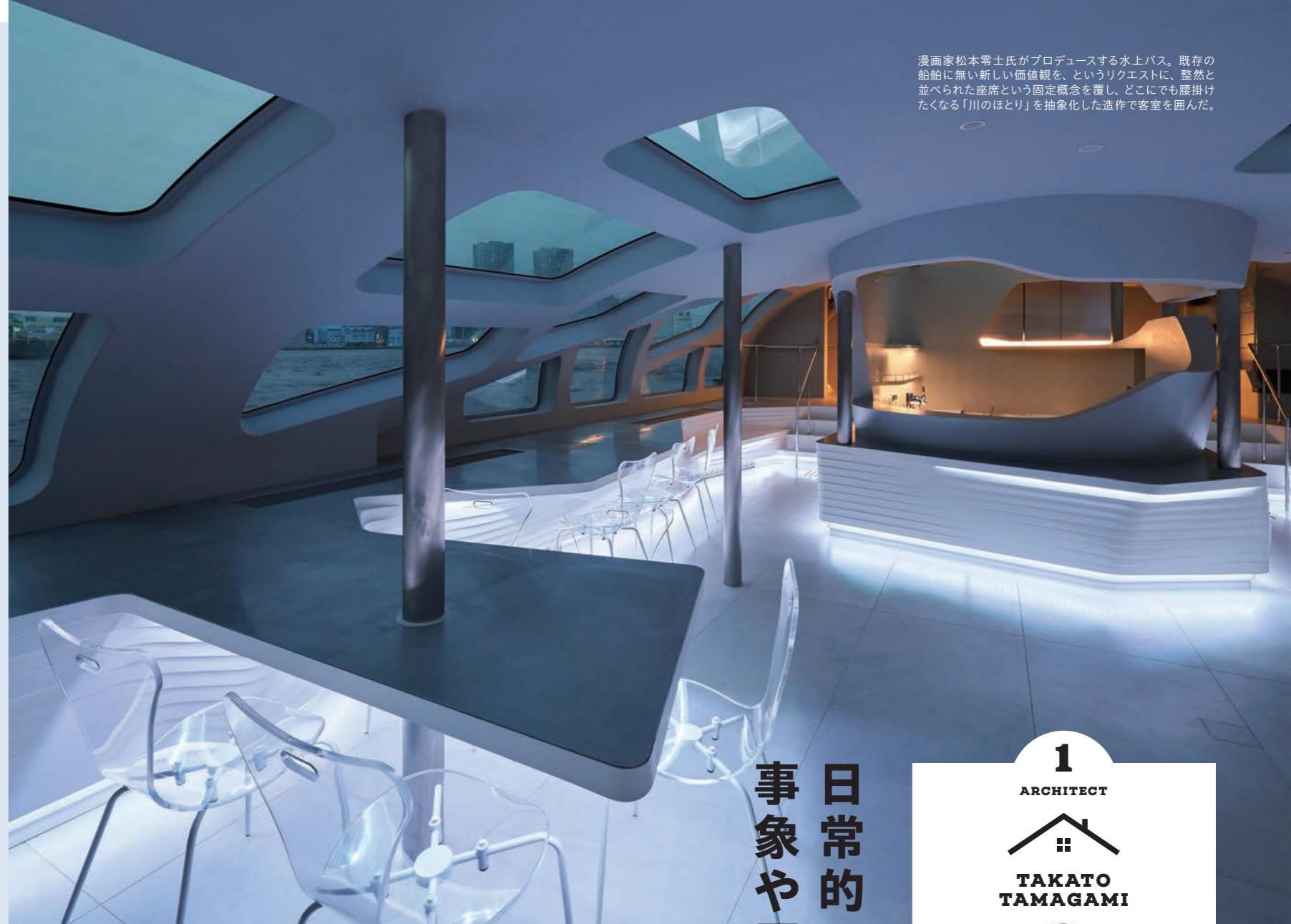
株式会社下田設計 | 下田恭子



1

日常的に人が知覚している
事象や原理を形態として視覚化

タカトタマガミデザイン株式会社(略称TTAD) | 玉上貴人



日常的に人が知覚している 事象や原理を形態として視覚化

1
ARCHITECT
TAKATO
TAMAGAMI



一級建築士
玉上貴人

1973年横浜生まれ。明治大学理工学部建築学科卒業。設計事務所勤務、ヨーロッパ各国を旅行のち、2000年にタカトタマガミデザインを創業。2015年にはタカトタマガミデザイン作品集出版。使い手や場所の個性を空間や形態に反映させる作風が特徴。現在、日本大学理工学部で非常勤講師を兼任。

SMOKER'S STYLE COMPETITION最優秀賞
(2010年)
JCDデザインアワード2012銀賞(2012年)
第13回きらりと光る北の建築 優秀作品賞(2013年)
AICA施工例コンテスト 2019 優秀賞(2019年)
日本空間デザイン賞 銀賞(2019年)
第11回 スペースデザインアワード 部門賞
(2022年)

タカトタマガミデザイン
株式会社(略称TTAD)
東京都渋谷区本町2-45-7
RENN Bldg.
03-5365-1701



個性を打ち出す 強い表現を意識的に

我々の担当領域は広いのですが、こうして俯瞰してみると、用途は違えど集いの場、憩いの場を設計していることが多いので、自然とそういう目的の空間の設計は得意になっていると思います。過去には喫煙所を複数手掛けたり、今は物流倉庫の休憩ラウンジやキー場のレストラン、展望テラスなどを継続して手掛けています

設計者冥利に尽きる 直々の設計依頼とは

ここ数年で最も印象的だった仕事は、隅田川を運行する水上バス

deauxをオンラインで共有できるツールはチームの円滑なコミュニケーションを促進するうえで、とても重宝しています。

3Dプリンターの 可能性に注目

「エメラルダス」の内装設計です。水上バスの本体は漫画家の松本零士氏がデザインしているのですが、子供のころから松本氏の漫画には親しんできたので、松本氏とコラボレーションで作ること、建築ではなく、初めて移動空間の「デザイン」ができるのをとても光栄に思いました。

もうひとつ大きな理由は、クラウドソーシングで、これまでそのクラウドソーシングとは縁があつたわけではありませんでした。これはクライアントや施工者のサポートがあつたのも大きいと思います。建築の設計経験がこんなにたちで求められ、そして活かせるということを知れたのは大きな収穫です。引き続き領域を横断した仕事には挑戦したいと考えています。

船舶ならではの法規などもありますが、法的、技術的、経済的なものを解決しながら作るのは建築も同じなので、苦労はさほど感じませんでした。これはクライアントや施工者のサポートがあつたのも大きいと思います。建築の設計経験がこんなにたちで求められ、そして活かせるということを知れたのは大きな収穫です。引き続き領域を横断した仕事には挑戦したいと考えています。

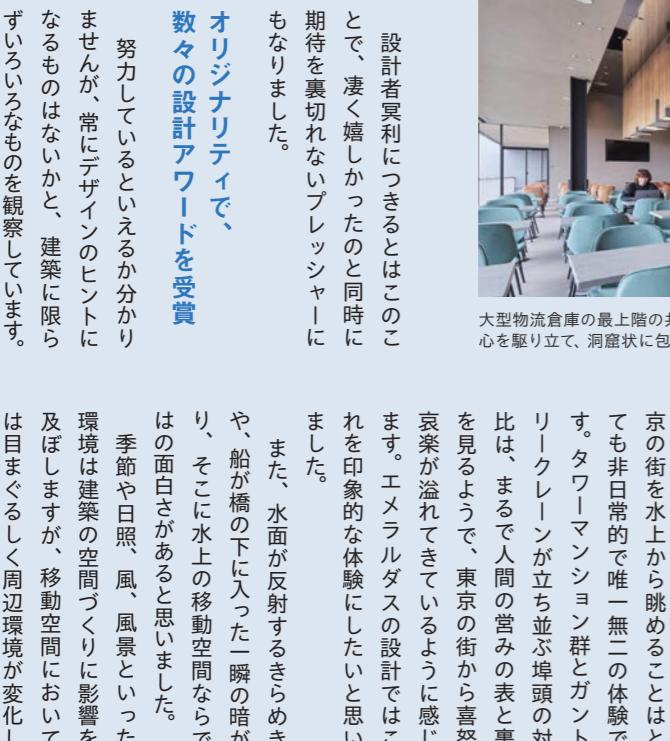
共に作り上げて行く 姿勢が必須

熱心な施工者は一緒に勉強するか、教えてもらうつもりで向き合います。必ずしも設計者は全てを知っている存在では無い、ということを知つてもらう必要があると思っています。与条件を統合していくのは我々の仕事ですが、施工と一緒に考えて共犯者のようになつていけば、作り上げていく楽しさを共有できますし、失敗するも共有し、次に活かそうという気持ちになれます。

大きく変わったもの デジタル化への対応で

BIMを二年程前から導入し

ています。複雑な形態を設計することが多いため、3Dのモデリングデータを自動的に2D図面化してくれたり、様々な情報を集約しておこなうことができます。BIMは我々にとって有益でした。パースの作成にはリアルタイムレンダリングソフトを使っています。レンダリングに何時間もかけていた頃に比べ、かけている時間は雲泥の差です。又、コロナ禍あたりまえになつたオンラインミーティングやクラウドサーバーの活用はもちろんのこと、Mi-ri-oのようなアイ



大型物流倉庫の最上階の共用ラウンジ及び売店。自然の岩肌を抽象化した起伏は登りたくなる好奇心を駆り立て、洞窟状に包まれた空間は安心感をもたらす。

設計者冥利につきるのはこのことで、凄く嬉しかったのと同時に期待を裏切れないプレッシャーになりました。

オリジナリティで、 数々の設計アワードを受賞

努力しているといえるか分かりませんが、常に「デザインのヒント」になるものはないかと、建築に限らずいろいろなものを観察しています。

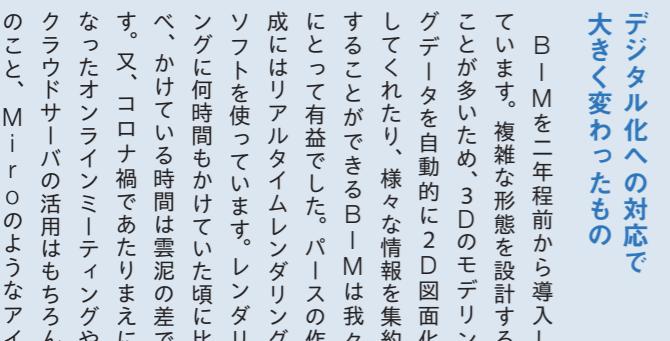
質実剛健、侘び寂びを美德とする日本人建築家が多くいるなかで、個性を打ち出す強い表現を意識的にすることで差別化を図っています。なにげなく日常的に人が知覚している事象や原理を形態として視覚化することで人の感情に働きかけるものを作りたいと思っています。

「水上バス」における 設計へのチャレンジ

松本零士氏デザインの未来的な船は隅田川を運行しています。東京の街を水上から眺めることはとても非日常的で唯一無二の体験です。タワーマンション群とガントリークレーンが立ち並ぶ埠頭の対比は、まるで人間の営みの表と裏を見るようで、東京の街から喜怒哀楽が溢れきているように感じます。エメラルダスの設計ではこれを印象的な体験にしたいと思いました。

また、水面が反射するきらめきや、船が橋の下に入った一瞬の暗がり、そこに水上の移動空間ならではの面白さがあると思いました。

季節や日照、風、風景といった環境は建築の空間づくりに影響を及ぼしますが、移動空間においては目まぐるしく周辺環境が変化し



繊維ファッショングループの自社ビル。塊をえぐりとったようなアプローチ空間は2つの道路を結ぶ近道になっている。この路地空間はクリムトの描く女性画がモチーフになっている。



東西に長い敷地形状を生かした長い平屋建ての建築。玄関ホールからリビング・ダイニングを超えて、個室までが一直線に見渡せる。軒を深く出し、水平方向に広がりを持った佇まいの和建築としたのも、その敷地形状から自然と導かれた。

最近はさすがに無いです。現場で納まりを検討しなくてはならない時などは、職人さんに教えてもらいうつもりで積極的に問い合わせ、コストを踏まえたうえで、「可能」ななかで最も「(技術的に)高度」な納まりを引き出すようになっています。職人さんも自分の技術が発揮できるのを心待ちにしている部分があるかと思います。

弊社が提案したのは、東西に長い敷地形状を生かした長い平屋建 ての建築。玄関土間から一步上がると、玄関ホールからリビング・ダイニングを越えて、個室に続く廊下までが一直線上に見渡せます。長くて奥行きのある豊かな空間を感じながら、大きく南へ開いた開口から四季折々の変化を感じて生 活してもらうという設計意図です。

この敷地形状を生かした「そこにしか存在し得ないもの」としての建築を施主はプレゼン図面から感じ取つてくださり、弊社を選定してくれました。

せっかくの家づくりですから、
可能不可能は別にしても、自分の
考えや要望は全て設計者に伝えて
みてください。そのうえで設計者
からの提案に耳を傾けてみてくだ
さい。施主の要望を満たしただけ
のプランを作成することは、我々
にとってはそう難しいことではあ
りません。そこにプラスして、いか
に住もう人々が楽しく、豊かな生
活を送れるかについての提案が出
てくるはずです。自分たちが考え
ていなかったような「数値にして
表せない空間の豊かさ」や「ともに
創り上げていく楽しさ」が感じら

設計者という立場から、より俯瞰的にものを見る「建築家、プロデューサー」としての視点を持ちたいと考えています。

一級建築士という国家資格と、培ってきた経験を生かしながら、まちづくりや地域活性化の一役を担えるよう活動の場を広げていきたいと思います。少しでも設計事務所を身近に考えてもらえるよう、事務所内で家具や雑貨などを販売し、ふらりと入っていただけるような場所づくりを考えています。同時にワークショップなど地域に開かれた場所づくりを計画

に貢献できればと考えています。
今後の弊社の課題としては、「若手の育成」ということがあげられます。まずは建築設計という仕事により興味を持つてもらい、その魅力を理解し、自分たちの仕事は社会的ににも誇れるものであることを知つてもらいたい。そのうえでノウハウをしっかりと伝え、資格も取りたくなるような仕事環境を整えて行きたいと考えています。
やりたいことは山ほどあります
が、確実にひとつずつ実行し、下田設計をよりよい会社にしていきたいと思います。

「このよう^にな納^めりを考^えて^います。」
「このよう^に見^せたい(表現^{したい})
からです。」^というこ^{ちら}の考^えを
理^解して^{もら}います。も^ちろん業^者さん、職^人さんから^の意見^にも^し
しつかりと耳^を傾^げます。

積極的な活用 個人のSNSでも現場の工事中写真をアップすると、「いいね」が比較的多くもらえることに気づきました。みなさん「建築」がどう出来上がっていかかということに興味があるのだなあと感じています。やはり「設計監理」という業務はとても重要であると再認識しています。若手に担当してもらい、事務所のアカウントにて情報発信していきたいと考えています。

よい家づくりは、「数値にして表せ
空間の豊かさ」や「ともに創り上
いく楽しさ」が感じられることが大
きな要素です。施主さん
お子さんと一緒に、お家づくりを
楽しんでください。

A man wearing a VR headset and holding a controller, sitting on a chair and looking out a window, illustrating the use of VR technology in construction.



空間の豊かさや、創り上げる
楽しさを分かち合える家づくりを

施主の要望や、法的な顧
最も心掛けていること

施主の要望や、法的な順守は当然踏まえたうえで、敷地の位置や形状、その周辺環境などを読み取り、その敷地（土地、地域）だからこそ成立する特殊性を持たせるような計画をしています。

建築が長期にわたり使われ続けるためには、性能ももちろんですが、最終的には、使い手にいかにその建築を「好き」になつてもらうか、愛着をもつてもらうかということになつてくると考えます。愛着が湧けば大切に使ってくれます。

「そこにしか存在し得ないもの」

着が湧き、また、そのような考え方で建てられたものは地域に根付きやすく、使い手はもちろん、地域の人々にも大切に使われ続けていくと考えます。

異なる用途の建築設計で得たノウハウをまた別の建築設計へとフイードバックしながら、より使いやすく、美しく、クライアントの気持ちに寄り添った建物ができるよう、心掛けており、それが弊社の一番の特徴となっているかと思います。



弊社は創立40年を迎える建築設計事務所です。建築の計画、設計および監理業務を行なうながら、最近ではホームページ・エクシコン等の調査などもお引き受けしております。業務範囲は地元群馬県伊勢崎市を中心に、県内はもちろん関東近郊において、2007年からは東京事務所を置き、都内でも多くのお仕事をさせていただいております。

「伊勢崎市景観まちづくり賞」や「ぐんまの家設計・建築コンクール」受賞、各種メディア掲載

株式会社下田設計
群馬県伊勢崎市連取町
2334番地10
0270-23-1431



建材情報をトータル配信 じっくり調べたい

最新の建材ニュース、建材製品検索、製品動画やショールームの閲覧、業界記事、設計士や建材メーカーへのインタビューなど、建材業界のことなら「建材ナビ」にお任せください。



<https://www.kenzai-navi.com/>

800社 18,000 製品



建築建材に関するコンテンツが盛りだくさん



NEWS

新製品発売や、展示会の情報など業界ニュースを閲覧できます。



PRODUCT

建材製品の検索、閲覧、取寄せ、お問合せ等ができます。



MOVIE

動画で紹介している製品も多数ございます。



SHOWROOM

メーカーショールームを紹介。VRのショールームもあります。



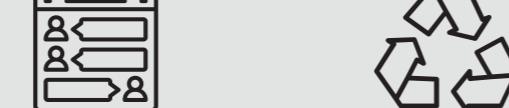
INTERVIEW

設計士や建材メーカーの取材記事を紹介しています。



ARTICLE

建材に関する役立つ記事、業界のコラム記事等を紹介しています。



Q&A

製品や施工に関する悩みやアンサーを投稿できるフォーラム

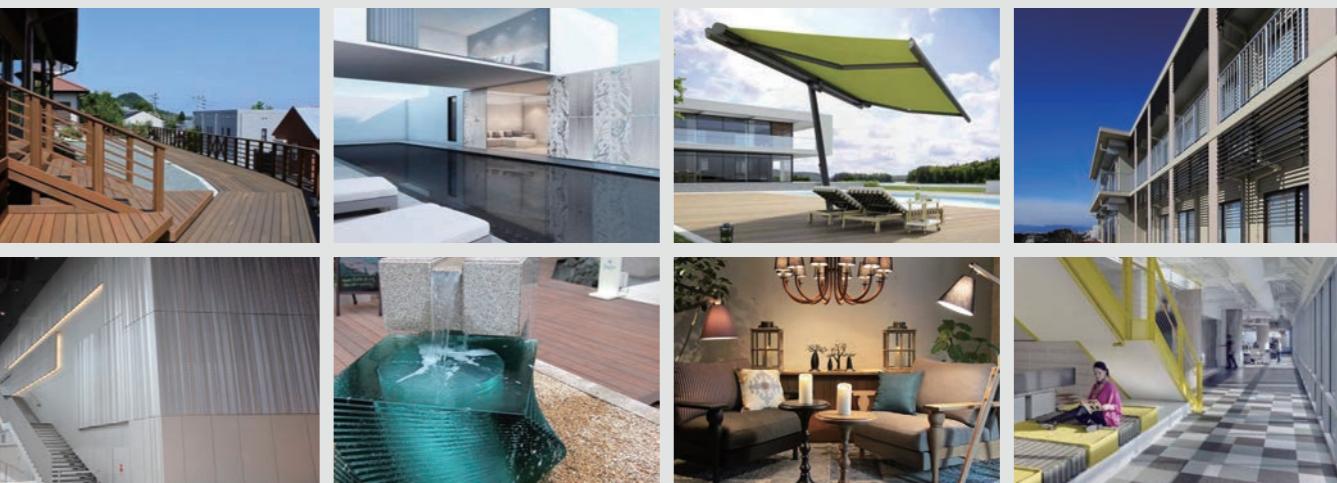
カタログの探しやすさに特化 さくさく見たい

「かたなび」はカタログの探しやすさにこだわりました。最新の建材カタログがすぐ見つかります。また選んだカタログはすぐ閲覧できて、他にも取り寄せや、相談・見積依頼も可能です。



<https://www.kenzai-navi.com/webcatalog/>

4,600 カタログ 20,000 ギャラリー



施工ギャラリーからでも探せます！

